経営比較分析表（令和元年度決算）

兵庫県宍粟市　公立宍粟総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	12	対象	ド 透 訓	救 臨 へ 輪
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**看護配置**	
37,331	14,078	非該当	７ ： １	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
199	－	－
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
－	－	199
稼働病床（一般）	**稼働病床（療養）**	**稼働病床（一般＋療養）**
179	－	179

※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療

※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

グラフ凡例
- ■ 当該病院値（当該値）
- ー 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

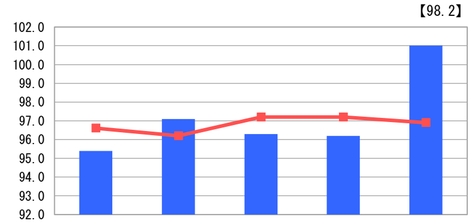
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	－ 年度	－ 年度

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

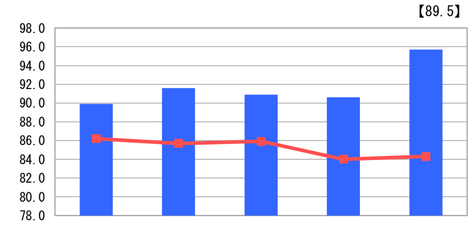
【98.2】



	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	95.4	97.1	96.3	96.2	101.0
平均値	96.6	96.2	97.2	97.2	96.9

②医業収支比率(%)

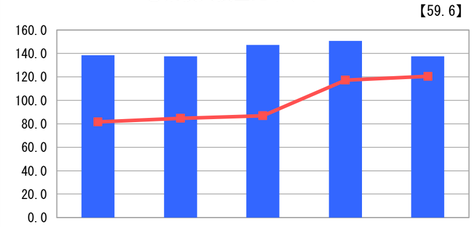
【89.5】



	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	89.9	91.6	90.9	90.6	95.7
平均値	86.2	85.7	85.9	84.0	84.3

③累積欠損金比率(%)

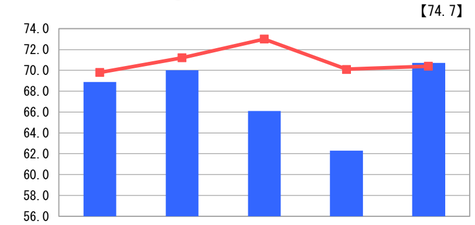
【59.6】



	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	138.4	137.6	147.4	150.8	137.6
平均値	81.6	84.7	86.8	117.1	120.5

④病床利用率(%)

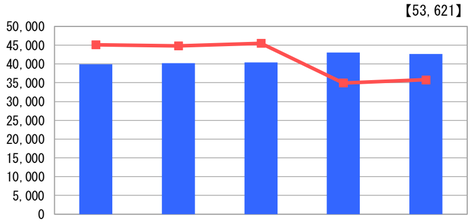
【74.7】



	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	68.9	70.0	66.1	62.3	70.7
平均値	69.8	71.2	73.0	70.1	70.4

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

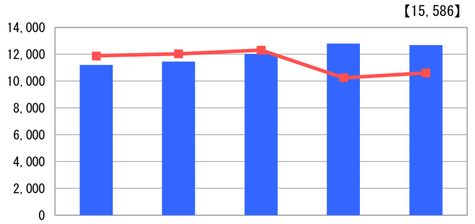
【53,621】



	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	39,915	40,200	40,417	43,039	42,662
平均値	45,085	44,825	45,494	34,924	35,788

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

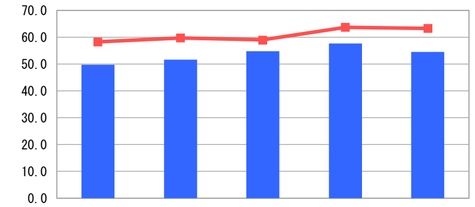
【15,586】



	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	11,201	11,443	12,019	12,802	12,684
平均値	11,881	12,023	12,309	10,244	10,602

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

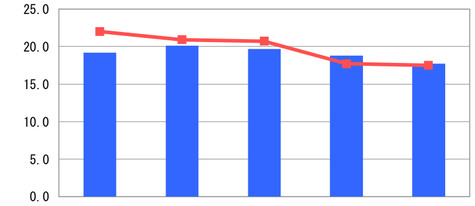
【54.6】



	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	49.8	51.7	54.8	57.7	54.5
平均値	58.3	59.7	59.0	63.7	63.3

⑧材料費対医業収益比率(%)

【25.0】

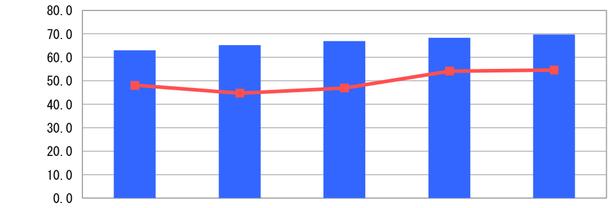


	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	19.2	20.1	19.7	18.8	17.7
平均値	22.0	20.9	20.7	17.7	17.5

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

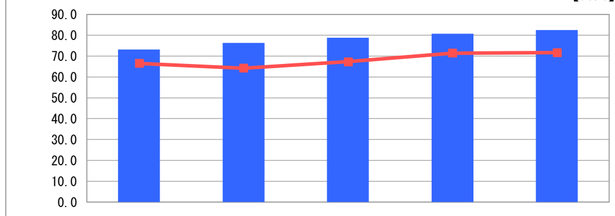
【53.5】



	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	63.1	65.2	66.9	68.4	69.8
平均値	48.1	44.7	46.9	54.1	54.6

②器械備品減価償却率(%)

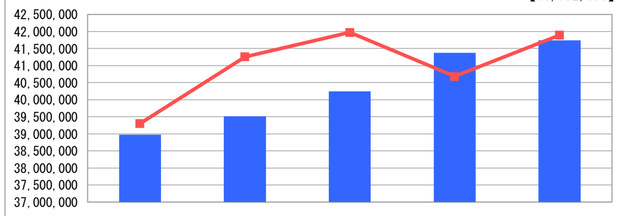
【70.0】



	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	73.2	76.3	78.8	80.7	82.5
平均値	66.5	64.2	67.3	71.4	71.7

③１床当たり有形固定資産(円)

【48,132,898】



	H27	H28	H29	H30	R01
当該値	38,976,566	39,511,956	40,249,429	41,377,563	41,744,879
平均値	39,301,664	41,260,555	41,975,086	40,683,727	41,891,213

Ⅰ 地域において担っている役割

兵庫県北西部に位置し人口減少及び高齢化が進む地域において、市内唯一の急性期病院であり、へき地拠点病院の指定を受けている当院は診療所では提供が困難な救急・急性期医療を提供していくことに加え、地域包括ケアシステムの基幹病院としての役割も担っている。

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

地域の医療ニーズに沿った病床数・病床機能に見直し、地域完結型の医療を確立するため1病棟を急性期から回復期に機能変更した。

また、大学医局との連携強化による医師確保に努め、医療体制の充実・救急患者受入体制の強化を図った。

これらの患者確保に努めた結果、前年度比で入院患者数は約14%の増、外来患者数は約5%の増となり、収益全体では304,480千円の増収となった。

収益が大幅に増加したことにより、経営分析上の数値は、それぞれ改善している。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は69.8%と平均値を15.2ポイント上回っている。平均値との差が大きく、施設・設備の老朽化が進んでいる状況である。特に医療機器の老朽化が進んでおり、減価償却率は82.5%と高くなっている。

現病院は建築後35年が経過し、老朽化や新しい設備を導入する場所がない等の状況になっている。現在病院建替え事業を進めており、長期的・計画的な設備投資を行っていく。

全体総括

平成29年3月に策定した「公立宍粟総合病院改革プラン」の着実な履行により、令和元年度は38,184千円の純利益となり、平成9年度以来、22年ぶりの黒字を確保することができた。

今後も引き続き当地域の特定中核病院として、二次救急医療や周産期医療の提供、また、市内で唯一の病院として本市の地域包括ケアシステムの中核を担う医療機関として、急性期から回復期における診療を行うとともに、退院後の在宅医療まで一貫した地域完結型医療を構築し、市民に安全で安心な医療を提供する。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。